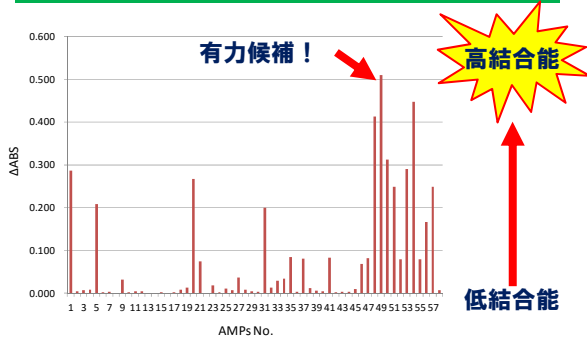


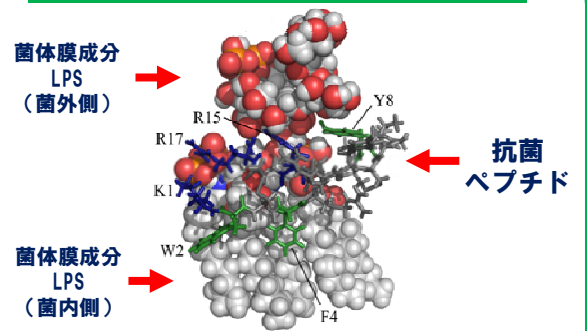
# 抗菌ペプチドを利用した食中毒原因微生物の高感度検出技術の開発

## プローブ候補抗菌ペプチドのスクリーニング



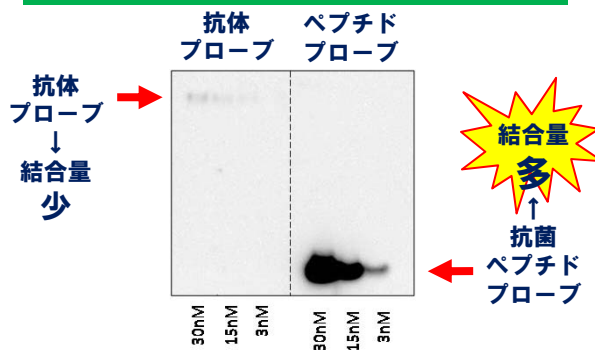
合成したペプチドのスクリーニングにより  
プローブ候補有力ペプチドを同定

## 相互作用解析に基づく変異導入と機能改変



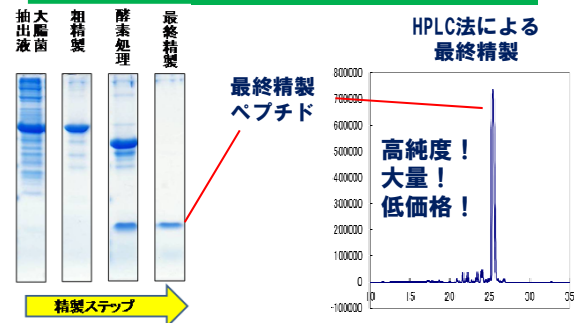
菌体成分とペプチドの相互作用解析結果に基づき、  
プローブ分子を改変

## 新規プローブの微生物への高親和性の実証



デザインした新規プローブが高親和性の  
プローブとして菌体と結合することを実証

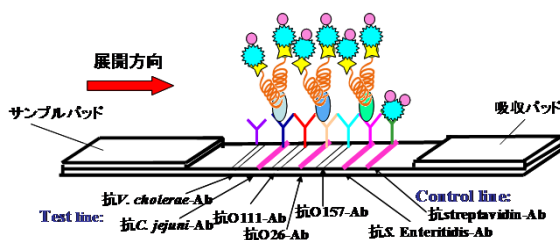
## プローブ用ペプチドの組換え生産技術の確立



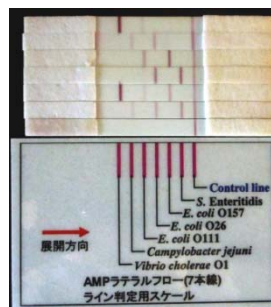
遺伝子組換え技術を用いたプローブ用  
ペプチドの安価な生産技術を確立

基礎から実用化を目指した技術開発

## 新規プローブを利用して多種類の病原微生物の簡便な同時識別検出技術（Multiplex LFA法）の開発に成功！！



- 特徴**
- 高い簡便性
  - 15～30分程度の短い検出時間
  - 複数菌種の同時識別  
→ 検査コストの削減へ貢献



6種類の食中毒原因微生物  
での同時識別検出の例

見込まれる波及効果

- 食の安心・安全への貢献
- 食品検査のコストダウンによる経済効果
- 幅広い微生物検査分野への応用

特許出願中（特願2013-4091）